

アオバズク

Ninox scutulata japonica

フクロウ目 フクロウ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



低地から丘陵地の常緑広葉樹林と針広混交林に夏鳥として生息し、大きな木の樹洞で繁殖する。薄暮時に飛翔性昆虫や鳥類を捕食する。「ホッホウ、ホッホウ」と2声ずつ鳴く。羽角がないので頭部は丸くみえ、目は金色をしている。市街地でも、社寺林や公園林などのまとまった林と大木があれば営巣することもある。生息地では、繁殖に適した樹洞のある大木が減少しているため、生息数が減少している。

(写真：高野橋豊 文：島岡 章)

県内分布 平地から山地の林に生息する夏鳥。

分布域 亜種アオバズクは北海道、本州、四国、九州で夏鳥。奄美以南は亜種リュウキュウアオバズクが留鳥。朝鮮半島、中国北部・東北部で繁殖。中国中部・南部、台湾、フィリピン、インドシナ半島で越冬。

鳥

類